

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2016-60729(P2016-60729A)

【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2014-191544(P2014-191544)

【国際特許分類】

C 07 C 43/13 (2006.01)

C 07 C 41/16 (2006.01)

A 01 N 31/14 (2006.01)

A 01 P 3/00 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 43/13 C S P C

C 07 C 41/16

A 01 N 31/14

A 01 P 3/00

C 07 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日(2018.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

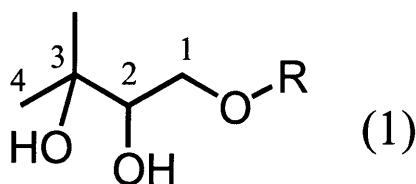
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(1)：

【化1】



(式中、Rは炭素数3~16のアルカノイル基を表す)

で表されることを特徴とする、メチルブタンジオール。

【請求項2】

前記一般式(1)におけるRが、炭素数4~14である、請求項1に記載のメチルブタンジオール。

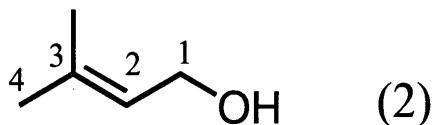
【請求項3】

前記一般式(1)において、Rが、n-ブチルまたはn-ヘキシリル基を表す、請求項1または2に記載のメチルブタンジオール。

【請求項4】

以下の式(2)：

【化2】



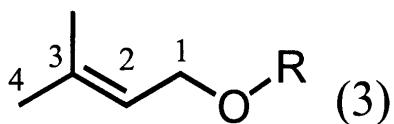
で表される3-メチルブト-2-エン-1-オールに、

R X

(式中、Rは、炭素数3~16のアルキルまたはアルカノイル基を表し、Xはハロゲン原子または水酸基を表す)

を反応させて、以下の一般式(3)：

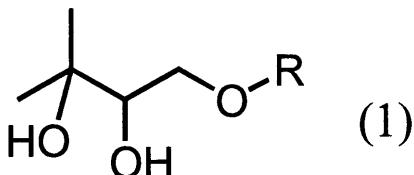
【化3】



(式中、Rは炭素数3~16のアルキルまたはアルカノイル基を表す)

で表される3-メチルブト-2-エン-1-オール誘導体を得、上記一般式(3)における二重結合を、酸化剤によりさらにジオールに酸化して、以下の一般式(1)：

【化4】



(式中、Rは炭素数3~16のアルキルまたはアルカノイル基を表す)

で表されるエーテルまたはエステル化合物のジオール体を得ることを特徴とする、メチルブタジオールの製造方法。